



献唱する翳った太陽を歌う会と釜石中の生徒の皆さん

はじめ 池田肇オーボエコンサート

8月10日【釜石市民ホールTETTO】

釜石市出身のオーボエ奏者で、平成20年11月の釜石応援ふさと大使発足当初から大使を務める池田肇さんのコンサートが開かれました。オーボエ、オーボエ・ダモーレ、イングリッシュホルンの音域の異なる3種のオーボエ属の楽器を奏で、古里の観客に優しい音色を届けました。12月のかまいしの第九演奏会への参加など何度も釜石へ足を運ぶ池田さんは「人口が減っていて寂しい気持ちはあるが、これからも音楽活動で復興へのお手伝いをしたい」と釜石への思いを語りました。



オーボエの柔らかい音色を響かせる池田さん



夏の夜空を彩った大小さまざまな花火



海面に投げ込む水中花火も復活しました

釜石納涼花火2019

8月12日【釜石港】

釜石の夏の風物詩の花火大会は、風の少ない絶好の花火日和の中、ラグビーワールドカップを盛り上げようと、釜石で試合を行うフィジー、ウルグアイ、ナミビア、カナダの国をイメージした花火など、約3,000発の花火が打ち上げられました。中でも海面に投げ込む水中花火は釜石市魚市場前で披露され、集まった観客は目の前で炸裂する花火の爆音とまばゆい光に歓声を上げました。



子どもや女性や高齢者も集えるみんなのスタジアムにしたいとまとめました

釜石鵜住居復興スタジアム運営シンポジウム

8月21日【釜石鵜住居復興スタジアム内メディアセンター】

ラグビーワールドカップ開催後のスタジアムの利活用について考えるシンポジウムが開催されました。鵜住居復興スタジアムオープニングイベントに携わった福島弦さん、笹川スポーツ財団の玉澤正徳さん、茨城県立カシマサッカースタジアム（鹿嶋市）内のクリニック運営に携わる石嶋正幸さんが先進事例などを発表しました。ゲストや参加者からは、ラグビーワールドカップが終わった後が大事で、市民全体で知恵を出し合い継続して検討していこうという意見が出ました。



濱田さんは、「さかなのまち」をアピールするには、異業種間の連携が必要であると提言しました

水産・海洋研究セミナー in 釜石

8月30日【チームスマイル・釜石PIT】

水産業に携わる関係者や市民を集め、今後の水産業について考えるセミナーが開催されました。冒頭のあいさつで野田市長は、このセミナー開催は市として現場の課題解決をしていく決意の第一歩になると話しました。セミナーでは、北海学園大学経済学部教授の濱田武士さん、岩手大学人文社会科学部准教授の杭田俊之さんの講演の他、「秋サケ・サンマの水揚げ見通し」や「アワビ・ウニの資源状況」などの研究が紹介され、参加者は真剣な表情で聞き入りました。

さんりく音楽祭2019

8月1日【釜石市民ホールTETTO】

世界で活躍する指揮者 佐渡裕さんが率いるスーパーキッズ・オーケストラの演奏会が開かれました。小学生から高校生で編成する同オーケストラは東日本大震災以降、継続して被災地に素晴らしい音楽と、感動と笑顔をお届けしています。



会場に詰めかけた聴衆に向け「花は咲く」などの指揮をする佐渡さん

クロージングセレモニー

8月7日【夢アリーナたかた（陸前高田市）】

6月1日に釜石市民ホールで開幕した「三陸防災復興プロジェクト2019」のクロージングセレモニーが陸前高田市で開催され、岩手県の三陸沿岸を舞台としたプロジェクトがフィナーレを迎えました。達増知事はあいさつで「この復興への取り組みでできた新たなつながりを財産に、新しい三陸をつくりましょう」と68日間にわたる同プロジェクトの意義を述べました。



クロージングコンサートでは、県立不来方高校合唱部の皆さんが「上を向いて歩こう」などを合唱しました



おそろいのTシャツでラグビー体操を披露する上中島こども園の園児ら



ラグビーワールドカップののぼり旗で大会成功をアピールしました

第31回釜石よいさ

8月3日【大町周辺】

釜石の夏の風物詩の一つ「釜石よいさ」は、今年も「踊り継ぎたい夏がある」をスローガンに31団体、約1,400人が踊り、6,400人の来場者でにぎわいました。間近に迫ったラグビーワールドカップ開催を盛り上げようと、のぼり旗や横断幕、ラグビー体操などでアピールしました。

東日本大震災復興祈念コンサート ふるさとはいかまいし

8月4日【釜石市民ホールTETTO】

釜石市出身のシンガーソングライターあんべ光俊さんプロデュースで2つのコンサートが開催されました。第1部は思い出の校歌コンサート。閉校となった釜石鉾山学園や釜石第一中学校などの校歌を、懐かしの映像やエピソードを紹介しつつ、それぞれの卒業生ら86人が歌い上げました。第2部は「碧き風のオーケストラKAMAISHI」による釜石ゆかりのコンサート。ふるさと釜石への熱い思いが、会場全体にあふれた1日となりました。



釜石高校の前身となる釜石高等女学校の校歌を、声高らかに歌った皆さん

第3回釜石オープンウォータースイミング2019根浜

8月4日【根浜海岸】

気温・水温・波の状態ともに絶好のコンディションで大会が開催されました。小学生から80歳までの約200人のスイマーがエントリー。出場部門ごとに異なるカラフルな水泳キャップをかぶり、スタートの合図とともに大きな水しぶきをあげて泳ぎ始めました。恒例となったスタート前のハイタッチ、ゴールした選手を会場全体で拍手で迎えるなど、会場は温かい雰囲気になりました。



真夏の青空の下、大きな声援を受け元気に泳ぎだす選手ら